



- 6. 3. 26

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名 福祉部	医療法人 城南会	代表者 山根 邦夫	法人・ 事業所 の特徴	・利用者と職員との関係作りを大切にし、馴染みのある関係が出来るように、コミュニケーションを積極的にとり、楽しく過ごせるように支援する。 又、家族の介護負担軽減に配慮し「訪問・通い・ナイト・ショートステイ」のサービスを柔軟に対応します。 ・家庭的作業や屋外活動・毎月の行事等の取り組みを行い、在宅生活が継続できるように、個々の生活リハビリに力を入れています。
事業所名 小規模多機能型施設 MOMO	管理者 高良 清作			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	2人	1人	0人	10人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・利用者のケアの方向性の情報を、職員間で共有しながら、家族の介護負担軽減に努める。	・利用者のニーズに添えられるよう関りを多く持ち、情報はスタッフ間で共有して、適切な支援が行えるように対応した。	・家族の介護負担軽減等、情報を共有する取り組みは、良いと思います。 ・日々の業務もしながらテーマに取り組んでいる様子が伺える。 ・利用者との信頼関係を深め、情報を把握し共有する結果は良いと思います。	・利用者、家族と常にコミュニケーションを図り、職員間で情報を共有し、ケアプランの内容に反映できるようミーティング等で話し合う場を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染予防に注意して、換気や室温調整を行い、環境整備に努め、快適に過ごさせていけるように努める。	・利用者の「～したい事」思いなど、気が付いた事は、その都度申し送りで報告しケアプランに沿った目標や支援内容をスタッフで共有できた。	・事業所の行くと、職員がいつも声掛けし要件を聞いてくれ、又常に母に声掛けして下さるので、母も落ち着いて過ごされています。 ・玄関に鍵は、今は防犯の為、かけた方が良いか？オーブンが良いのかなあ ・インフルエンザも増えて大変なので予防は大事ですね。	・事前にケアプラン内容を把握して、一人一人の個別支援を行えるよう支援していく。
C. 事業所と地域のかかわり	・民生委員や包括支援センターなどと関りを持ち、地域資源を活用できているか再確認する。	・新型コロナウイルス対策で、民生委員や地域包括支援センターの方の参加が厳しく、情報を得る事が出来なかった。	・コロナ禍で困難な部分はあったが、取り組みは出来ている。 ・8月に包括高良に「認知症の方への接し方」というテーマで講話を、実施した事はいい取り組みだと思います。 職員の皆さんには相談事や困りごとなど、気軽に話せて、すぐに対応して下さるので、MOMO の雰囲気がとても良いと思います。 ・MOMO の利用者さんと地域の方とのレクリエーションなど、交流できる場所があると良いですね。	・利用者の環境把握に努め、必要に応じて関係機関(医療・包括支援センター)等と連携をとり、情報収集して利用に繋げていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を充分に行った上で、地域行事などを事前に情報収集して関係性を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の影響で、思うように地域との連携を図る事が難しく、会議が開催されても、限られた職員の参加しか出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策で地域の方と交流は出来なかつたと思いますが、ドライブや買い物など外出が出来て良いと思います。 ・近くの公民館などから情報を得る事も良いかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の際は、利用者の思いを尊重して、感染対策を行った上で、地域との交流を深める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の必要とされる為に、地域との繋がりをどのようにすべきか運営推進会議などで意見を頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域と繋がる機会を設ける事は出来なかつたが、運営推進会議で参加者からは、それぞれの意見を頂く事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メンバーとして中々、運営推進会議に参加出来ないが、報告書や議事録などを通し様子を知る事が出来る。 ・事業所を地域に知って貰う為に、行政、民生員からの意見を聞くのは、色々気づきがあって良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での内容や議事録は職員間で周知し、次回の改善策を職員間で話し合う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・常に防災・災害対策に関心を持ち、災害時の対応マニュアルに沿って避難訓練等がスムーズに図れるように取り組む。又、備蓄品の確認・点検を定期的に行い整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5・9月26日（火）日中想定・避難訓練実施。今回、初めてのバケツリレー導入・消火器の使用方法再確認。又、備蓄品の点検補充確認。令和6年3月21日夜間想定・避難訓練実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練も実施していた。 ・事業所が行っている防災訓練を地域の方と協力できるといいですね。 ・日頃の訓練を行う事で、利用者がスムーズに避難できると思います。 ・定期的に防災の情報収集を行い、地域の方と連携を図るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様、防災・災害対策に関心を持ち、災害時の対応マニュアルに沿って、避難訓練等がスムーズに図れるように取り組む。又、備蓄品の確認・点検を定期的に行い整える。